

■ 本書のねらい

本書の目的は、英文法の知識を体系的に学び、その知識を運用できるようにトレーニングすることにあります。昨今入試問題でも散見する誤文訂正や下線部和訳や英作文などの問題では特に、断片的な文法知識では到底対応できないのは勿論のこと、持っている文法知識を実際に運用できるかが問われています。これらの問題は、英語が使えるようになることを目指す全ての学習者にとって、越えなくてはならない課題であることは間違いありません。そして、この課題をクリアしたときに、英文がなんとなく分かるという状態を脱することができ、かなり正確な英語を発信することができるようになります。

■ 本書の構成

全体が5つの章からなり、それぞれの章のテーマは、1. 動詞と文型、2. 動詞の活用、3. 名詞相当語句、4. 形容詞的修飾語句、5. 副詞的修飾語句となっており、さらに各章には5つのレッスンがあり全体で25レッスン構成となっています。各章の初めに誤文訂正問題が10題あり、それを2問ずつ説明する形でレッスンが展開されています。レッスンは見開きで左ページに解説、右ページに問題となっています。各章の最後には章末問題とおすすめの図書の紹介があります。別冊解答書には解答と解説がのっています。さらに文法知識を深めたい人のために研究問題を用意してあります。

[第1章 動詞と文型]

<誤文訂正>.....	3
1. 自動詞と他動詞.....	4
2. 他動詞と目的語.....	6
3. 授与動詞.....	8
4. 第5文型と小節.....	10
5. 句動詞.....	12
<章末問題1>.....	14

[第2章 動詞の活用]

<誤文訂正>.....	15
6. 動詞の活用と分類.....	16
7. 助動詞.....	18
8. 時制.....	20
9. 語法と時制の照応.....	22
10. 受動態.....	24
<章末問題2>.....	26

[第3章 名詞相当語句]

<誤文訂正>.....	27
11. 名詞と数.....	28
12. 冠詞と名詞句.....	30
13. 代名詞.....	32
14. 名詞節.....	34
15. 無生物主語.....	36
<章末問題3>.....	38

[第4章 形容詞的修飾語句]

<誤文訂正>.....	39
16. 形容詞.....	40
17. 関係詞(1).....	42
18. 関係詞(2).....	44
19. 比較(1).....	46
20. 比較(2).....	48
<章末問題4>.....	50

[第5章 副詞的修飾語句]

<誤文訂正>.....	51
21. 副詞.....	52
22. 分詞構文.....	54
23. 仮定法.....	56
24. 否定.....	58
25. 倒置.....	60
<章末問題5>.....	62
<英語表現索引>.....	63

英語の文には主語(S)と動詞(V)があり、その動詞により文型が決まります。この章では、文の要である動詞について学びます。

問題 日本語訳を参考に、次の英文の文法的な誤りを直しなさい。
(誤りを含む英文には*印がついています。)

- 1) *We reached to the hotel around 6 p.m.
「私たちは午後6時ごろホテルに到着した」
- 2) *She smiled bitterly because the coffee tasted bitterly.
「彼女が苦々しそうに笑ったのは、コーヒーが苦かったからだ」 ⇒ 4頁
- 1) *Don't forget locking the door behind you.
「あなたの後ろの扉の鍵をかけるのを忘れないでください」
- 2) *I object to wait any more.
「私はこれ以上待つのは反対です」 ⇒ 6頁
- 1) *The little girl helped me with the dishes, so I gave a candy.
「その女の子が皿洗いを手伝ってくれたので、キャンディーをあげた」
- 2) *The teacher explained us the meaning of the word.
「先生はその語の意味を私たちに説明した」 ⇒ 8頁
- 1) *Nobody thinks that she is a doctor, but he believes to be true.
「誰も彼女が医者だとは思っていないが、彼は本当だと信じている」
- 2) *I was made apologize when I was seen beating my brother.
「弟をたたいているのを見られて、謝らされた」 ⇒ 10頁
- 1) *I called Mary up yesterday. I did not call her on at her house.
「昨日メアリーに電話しました。彼女の家に行ったわけではありません。」
- 2) *The children were happy because they were taken good care.
「子供たちは面倒をよく見てもらっていたので幸せだった」 ⇒ 12頁

誤文訂正 1 *We reached to the hotel around 6 p.m.

「私たちは午後6時ごろホテルに到着した」

■ 第1文型 (SV) と第3文型 (SVO)

自動詞 (Vi) : 目的語を必要としない (動詞の直後に名詞がこない)

他動詞 (Vt) : 目的語を必要とする (動詞の直後に名詞がくる)

▶上の文で reach は他動詞なので目的語をとる。よって、前置詞の to は不要。

- a) I went (to the hotel) (around 6 p.m.) 「私は6時ごろホテルに行った」
 b) I reached the hotel (around 6 p.m.) 「私は6時ごろホテルに到着した」
 a) は S+Vi+(M) (第1文型: 自動詞) M は副詞的修飾句
 b) は S+Vt+O+(M) (第3文型: 他動詞)

■ 自動詞(+前置詞)と他動詞

- a) They [talk about / discuss] the problem. 「その問題について話す」
 b) They [participate in / attend] the meeting. 「会議に参加する」

誤文訂正 2 *She smiled bitterly because the coffee tasted bitterly.

「彼女が苦々しそうに笑ったのは、コーヒーが苦かったからだ」

■ 第2文型 (SVC)

- a) He smiled (bitterly). 「彼は苦々しそうに笑った」
 b) The coffee tasted bitter. 「コーヒーが苦かった」
 a) は S+Vi+(M) (第1文型: 自動詞)
 b) は S+Vi+C+(M) (第2文型: 自動詞)

第2文型では、主語 (S) と動詞 (Vi) の他に補語 (C) も不可欠な要素である。
 補語 (C) となるのは名詞や形容詞、意味の上では (S=C) が成り立つ。

▶taste は第2文型をとるので bitterly (副詞) を bitter (形容詞) とする。

■ 第2文型をとる動詞

- 「～になる」 : become, turn, grow, go
 「～のままである」 : keep, remain, stay
 「～と感じられる」 : seem, look, sound, feel, smell, taste

■ go shopping 「買い物に行く」

- a) He went skating on [to] the lake. 「湖へスケートをしに出かけた」
 b) He went swimming in [to] the lake. 「湖へ泳ぎに出かけた」
 前置詞は to でなく活動 (skating, swimming) に対応させる。
 go+[camping / fishing / jogging / skating / skiing / swimming]

[1] 各文の意味の違いが分かるように訳しなさい。

- (1) a) My aunt called me yesterday.
 b) My uncle called on me yesterday.
 (2) a) He happily looked at the baby.
 b) He looked happy at the beginning.
 (3) a) She is expecting.
 b) She is expecting a letter.
 (4) a) He walked to the station.
 b) He walked me to the station.
 (5) a) He often reads novels.
 b) The novel reads well.

[2] 空所に入る共通の単語を答えなさい。

- (1) a) He will (m) an excellent doctor.
 b) He wants to (m) a lot of money.
 (2) a) Please (g) get some eggs for me.
 b) If kept in the fridge, the eggs don't (g) bad for a while.
 (3) a) As president, he (r) a company in Tokyo.
 b) He is a fine athlete, and he (r) fastest in his class.
 (4) a) The fog is (gr) thicker.
 b) The students enjoyed (gr) potatoes.
 (5) a) You should (st) the road map before you start your trip.
 b) I want to (st) abroad sometime in the future.

[3] 次の文の文法的な誤りを訂正しなさい。

- (1) He laid down on the bed as soon as he got home.
 (2) He married a girl who resembled to a famous actress.
 (3) She looked like young for her age.
 (4) I enjoyed very much when I went camping on the mountain.
 (5) You should apologize him for your rudeness.